

各位

2007年1月29日

東京都港区虎ノ門一丁目2番8号
株式会社メンバーズ
代表取締役社長 剣持 忠
(コード番号：2130)

認知度=31.1% WEB2.0とは？

『WEB2.0に関する意識調査』を実施

株式会社メンバーズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:剣持忠、名証セントレックス上場:証券コード 2130、以下「メンバーズ」)は、2006年9月に、ウェブに関する意識と利用動向に関して独自にインターネット調査を行い、『WEB2.0に関する意識調査』としてまとめました。

調査の結果、消費者の間ではWEB2.0に対する認知が高く、各種のWEB2.0を代表するサービスが利用されている一方、会社員に対する質問においては、WEB2.0に具体的に取り組んでいる勤務先はまだ少数であることなどから、WEB2.0の潮流は消費者主導型の動きであると確認されました。

■調査概要

題 名: ウェブに関する意識と利用動向調査
手 法: インターネット調査
実 査 日: 2006年9月
対 象 者: 20-69歳インターネットユーザー(会社員=36.0%、主婦=25.9%、学生=7.8%)
質 問 数: 19問
有効サンプル数: n=309

■調査結果

Q. 現在、あなたはご自身の個人ホームページを、開設されていますか？

A. 開設率=29.1%

個人ホームページ開設率=29.1%と、全体の約3割の人がホームページを開設していた。
また、ネット利用者のブログ認知度=96.8%、そしてネット利用者のブログ開設率=33.4%と分かった。

Q. 『SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)』とは何か、ご存知ですか？

A. ネット利用者のSNS認知度=78.0%

ネット利用者のSNS認知度=78.0%という結果であった。
実際にSNSに登録している人は、38.2%、内21.3%が積極的に利用しているとわかった。

Q. 「アフィリエイト・プログラム」とは何か、ご存知ですか？

A. ネット利用者のアフィリエイト認知度=71.2%

ネット利用者のアフィリエイト認知度=71.2%の内訳は、よく理解している=42.4%、あまり理解していない人

News Release

28.8%であった。

また、ネット利用者のアフィリエイト利用意向者=52.8%と、半数以上の人が興味を感じている。しかし、既に活用している人は、13.6%であった。

Q. 『ロングテール』とは何か、ご存知ですか？

A. ネット利用者のロングテール認知度=20.8%

よく理解していると回答した人は、わずか3.6%で、全く知らないと回答した人は、79.3%であった。
ロングテールという概念は、ビジネス層の一部においてのみ理解されていることがわかった。

Q. 『WEB 2.0』とは、何かご存知ですか？

A. ネット利用者の『WEB2.0』認知度=31.1%

『WEB2.0』認知度=31.1%、これに対し、約7割の68.9%の人は全く知らないと回答した。
また、『WEB2.0』の解釈は、ユーザー参加型のWEB、検索や関連付けの自由度が高まったもの、といったユーザーにとって利便性が高いという認識が多数であった。

Q. WEB2.0時代において、あなたの生活にどのような変化・影響が出るとお思いますか？

A. 情報の集め方が変わる=51.8%

『WEB2.0』の生活への影響として、情報の集め方が変わる=51.8%と回答した人が最も多く、解釈・判断の仕方が変わる=31.7%、商品やサービスの選び方が変わる=28.8%、メディアの使い方が変わる=27.8%と続いた。
具体的には、「欲しい情報が最適な形で得られる」、「より専門的にそして一般の人の正確な商品評価を期待できる」という様な考えや、反対に「誤った情報、偏った情報を排除するのに苦労しそう」という意見もあった。また、テレビが衰退し、インターネット上での広告活動が活発になるという回答が多くみられた。
これに対し、25.2%の人が特に影響はないと回答した。

Q. WEB2.0の出現で、あなたの会社やお仕事に影響はあると思われますか？

A. 特に影響はない=64.8%

商品・サービスそのものに影響が出る=18.5%、商品・サービスの調査・設計・企画方法に影響が出る=14.8%、との回答の一方、64.6%が特に影響はないと回答した。

また、「WEB2.0が今後、ビジネス(仕事・会社)になんらかの影響がある」=35.4%(就労者を対象)と回答している。
WEB2.0によるビジネスへの影響を予測する層のデモグラフィック属性は70%以上が男性で、職種では「経営者・役員」、「企画・マーケティング系会社員」が多い。業種は「情報・インターネット関連」、「サービス」、「製造」が多い。

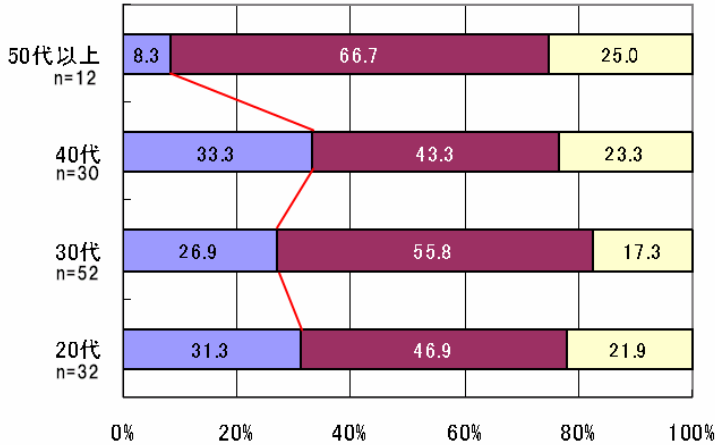
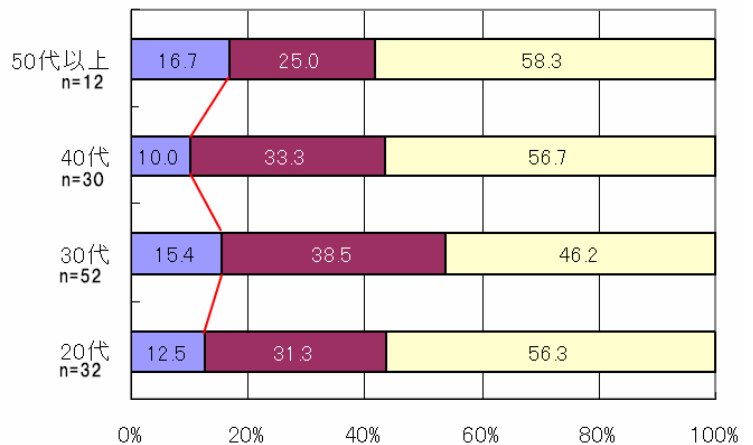
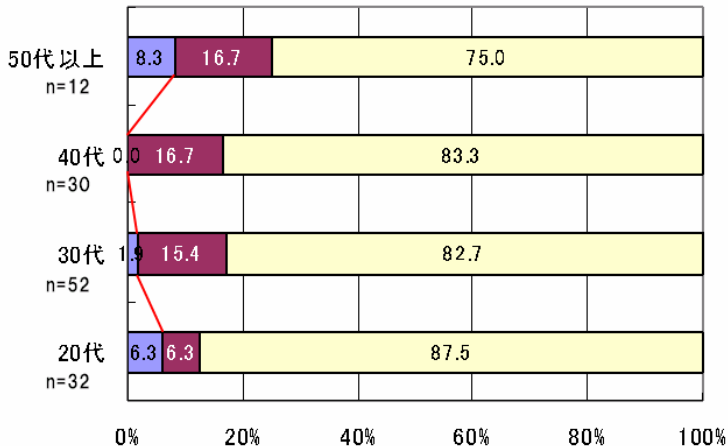
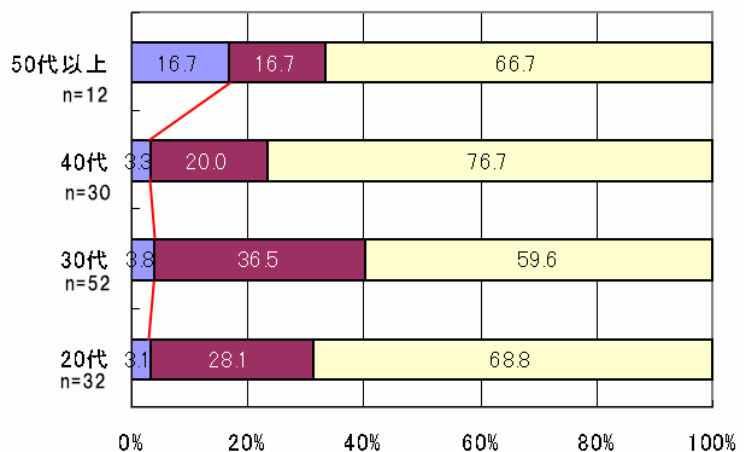
Q. あなたが勤務されている会社では、WEB2.0に対する取り組みをされていますか？

A. 特に取り組む予定はない=45.0%

積極的に取り組んでいる=0.5%、今後取り組むと思われる=9.5%に対し、特に取り組む予定はない=45%、分からない=45%であった。

WEB2.0 認知・理解 年代別

「SNS」を「よく理解している」は、20代、40代で30%を超える。「RSS」「ロングテール」「WEB2.0」を「よく理解している」は各世代を通じて少数。「全く知らない」が各世代で50%を超える。

<SNS>

<RSS>

<ロングテール>

<WEB2.0>


- よく理解している
- あまり理解していない
- 全く知らない

株式会社メンバーズ(市場名:Centrex コード番号:2130)

メンバーズは、デジタル技術およびネットワーク技術を活用して、顧客企業に最適なインタラクティブ・マーケティングソリューションを提供する“インタラクティブ・エージェンシー”です。Web制作、広告代理等の顧客企業のマーケティング展開に必要な施策を、調査・分析、戦略立案から企画、開発、運用、効果検証までワンストップで提供し、全体最適化を担います。

また、今後は、従来から展開している大企業向けを中心としたデジタルマーケティング関連サービス(企業サイトの構築やマーケティング、販売支援)のノウハウ・資産を活用して、新たなネットメディアやサービスを自社商品として新規開発するメディア&ツール事業の強化・拡大を、中期戦略の重点課題として推進して参ります。

■ 本リリースに関するお問い合わせ

株式会社メンバーズ 経営企画室 高野・山田

TEL:03-3500-5705 / Mail: press@members.co.jp